

報じられなかった写真

昭和30年代——写真家・小林新一の820カット

2012年1月に他界した新潟市在住の写真家、小林新一（1917-2012）は、良寛ゆかりの地をテーマにした象徴的な風景写真で市内外に知られましたが、写真家としての彼の出発点は報道写真でした。

小林は、リアリズム写真全盛の昭和20年代後半に、雑誌の月例コンクールで頭角をあらわしました。プロに転じてのちは新潟県内外を幅広く取材し、『中央公論』『アサヒグラフ』などで地方の話題を相次いで報じてきました。特にアマチュア時代を含む昭和30年代は、新潟市が大火、地盤沈下、地震といった大きな災害を経験した時代であり、ここから小林は報道写真家としての方法論を確立していきました。それは、事件の表層的な映像を追うのではなく、人々のささやかな日常の変化を前景化させる取材でした。この姿勢は、生涯を通じて小林のフォト・エッセイを貫く基本的なスタイルになっています。

この時代に小林の気力が充実していたことは、消費されたフィルムの多さにも現れています。しかし、実際に記事に組まれて報じられたのはわずか数点であり、使われなかった膨大なカットが半世紀にわたって作家の手元に残されてきました。このロールフィルムの「行間」を注意深く観察すると、一枚の作品写真では見えてこない現場の動き——すなわち写真家と被写体のやりとり、場所の移動、休息、ハブニング、ときには写真家の迷いなど、さまざまな発見に出会うことができます。

通常、未公開映像のフィルムは、作家没後は永遠に作品化されることはありません。しかし、時間の刻みを物理的にとどめるフィルムは、作品とは別の、歴史資料としての価値と可能性を含んでいます。本展覧会は、著作権継承者の多大なご理解とご協力を得て、この小林新一の昭和30年代ネガフィルムを再評価しようという試みです。



1 (松浜) 1955年5月 / 新潟市 2 (新潟大火) 1955年10月 / 新潟市 3 (奥添地) 1956年11月 / 塩沢町 (現南魚沼市) 4 (毒消し売りの娘たち) 1957年 / 巻町 (現新潟市) 5 (北西の風と砂) 1960年 / 山形県酒田市
6 (日本の中の38度線) 1959年 / 新潟市 7 (沈む大地) 1955-59年 / 新潟市 8 (地震—それが残したもの) 1964-65年 / 新潟市 9 (一寸刻みの恐怖) 1962年 / 松之山町 (現十日町市)

イベント情報

新潟市歴史博物館 〒951-8013 新潟市中央区柳島町2-10 TEL:(025)225-6111 FAX:(025)225-6130 <http://www.nchm.jp/>

■ 学芸員による展示解説

- 日時:毎週土曜日 午後2時から(約45分)
- ゲスト① 4月27日(土) 写真家:上山益男さん
- ゲスト② 6月8日(土) 元テレビディレクター:大澤建一さん
- 会場:企画展示室
- 事前申込不要(当日の観覧券が必要です。)

■ 講座「小林新一の軌跡

～チョンマゲからバイオテクノロジーまで～

- 日時:4月28日(日) 午後1時30分～3時
- 講師:木村一貫(当館学芸員)
- 会場:セミナー室
- 事前申込不要(先着80名)
- 参加費:無料

■ シンポジウム「小林新一と良寛」(全国良寛会共催)

- 日時:5月5日(日) 午後1時30分～3時
- 司会:長谷川義明(全国良寛会会長)
- パネラー:加藤信一(新潟大学名誉教授)
柳本雄司(株式会社考古堂書店会長)
上山益男(写真家)
- 会場:ミュージアムシアター
- 申し込み:「往復はがきに住所、氏名、連絡先電話番号を記入の上「シンポジウム係」まで(4月21日必着)
- 定員:100名(多数の場合抽選。)
- 参加費:無料

■ セミナー「写真に学び写真を楽しむ」(新潟県写真家協会共催)

- 日時:6月2日(日) 午後1時30分～3時
- 講師:内山 晟(新潟県写真家協会副会長)
- 会場:セミナー室
- 事前申込不要(先着80名)
- 参加費:無料

■ セミナー「デジタル一眼レフカメラで作品創りを楽しもう!!」

(株式会社新潟フジカラー共催)

- 日時:6月9日(日) 午後1時30分～3時
- 講師:椋沢善孝(写真家・フォトアドバイザー)
- 会場:セミナー室
- 事前申込不要(先着80名)
- 参加費:無料

INFORMATION

■ 観覧料

	一般	団体(20名以上)
大人	500円	400円
大学生・高校生	300円	240円
中学生・小学生	200円	160円

- 中学生・小学生は土・日・祝日の観覧料が無料です。
- 企画展の観覧券で常設展もご覧いただけます。
- 開館時間:9:30～18:00(観覧券の販売は閉館30分前まで)
- 休館日:毎週月曜日(4/29、5/6は開館)、5/7(火)

■ 交通案内

- 新潟駅より:
新潟観光循環バス(犬夜叉号)で27分
「歴史博物館前」バス下車すぐ
新潟交通「昭和大橋・入船営業所」行きバスで28分「歴史博物館前」バス下車すぐ
- 車で:
新潟バイパス紫竹山ICより約15分
(駐車場:73台収容可能)
- 信濃川ウォーターシャトルが敷地脇より発着

